



令和6年度

9月号

★教育目標 郷土を愛し、未来を築く人間の育成
・健康な生徒(体) ・創造する生徒(知) ・実行する生徒(意) ・感動する生徒(徳・情)

★重点教育目標 「互いに認め合い、高め合う生徒」の育成

二海郡八雲町東雲町 31 番地1

E-mail: yakumo-jh@town.yakumo.hokkaido.jp

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果について

令和6年4月18日(木)、3年生対象に全国学力・学習状況調査を実施しました。国語・数学及び生徒質問紙について保護者の皆様にお知らせいたします。

※生徒個別の結果(個票)は、後日お子様を通じて配付いたします。

1. 各教科(国語・数学)について

【国語】◇正答率は、全国及び全道の平均正答率と比べて下回る状況でした。

《課題》

- ・資料を用いて自分の考えがわかりやすく伝わるように話すこと。
・資料を適切に用いること、描写を基に内容をとらえること。

《方策・改善点》 今後の授業に活かす観点から

- ・資料を用いて人に分かりやすく説明したり、発表したりする学習活動を取り入れる。
・登場人物の心情の変化などについて、本文から描写を探る学習活動を取り入れる。

【数学】◇正答率は、全国及び全道の平均正答率と比べて下回る状況でした。

《課題》

- ・「連続する」偶数の意味を理解していない。整数で表している。
・問題で問われている意図を読めていない。無回答が多い。(記述式)
・指定された言い方で答えることができない。xの値・x座標など、正しい用語で答える(記述式)
・証明する根拠が不十分。正三角形の性質から、等しい大きさを見つけることができない。
・点が動きでどのような図形になるのか、角度がどう変化するかイメージできていない。(完全回答)

《方策・改善点》 今後の授業に活かす観点から

- ・偶数が2の倍数であることを、言葉が違って同じ意味だと繋げられるよう指導する。
・解決の見通しをもたせる場面では、キーワードや図・式に関連させる。説明する活動を多く設定する。
・問題文を正確に読み取る練習を多く取り入れる。
・解き方を説明する活動を多く設定する。数学の用語を正しく使うよう意識的に授業で用いる。
・すでに与えられている情報を図に書き込むよう指導する。
・ICT機器を活用し、実際に点を動かすことでイメージしやすくする。

2. 生徒質問紙について

質問は65問あります。「学習意欲、学習方法、学習環境、生活面」等に関する調査です。3年生の状況を把握し、さらに生徒たちがより良い生活を過ごしていけるよう、本校教育活動の参考にしていきます。紙面の都合で限られた内容をご紹介します。

- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」:ほとんどの生徒がそう思っています。「いじめ撲滅」に良い結果が表れています。「いじめ撲滅集会」等を中心に取り組み、引き続き、いじめ撲滅に努めていきます。
□「学校に行くのは楽しいと思いますか。」:ほとんどの生徒がそう思っています。
□「自分には、よいところがあると思いますか。」:ほとんどの生徒がそう思っています。長所を伸ばし自己有用感を高める教育活動を進めていきます。
□「人が困っているときは、進んで助けていますか。」:ほとんどの生徒がそう思っています。優しく、親切な生徒が多い八雲中学校です。
□「普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。」:3,4時間以上する生徒が多く、もう少し家庭学習の時間を増やしていきましょう。
□「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。」:1時間以上2時間より少ない、30分以上1時間より少ない、30分より少ないに当てはまる解答が多く、家庭での学習時間を確保、継続するように指導していきます。
□「1,2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。(7)友達と協力しながら学習を進めることができる。」:ICT機器や、特にクロムブックは「普段使い」になっています。3年生は、現在クロムブックでプレゼンテーションづくりに励んでいます。